

6・21もう黙っとれん1000人パレード アピール

今、安倍政権は、国民多数の声を無視して、どんどんと戦争への道を進め、国民の目・耳・口をふさぎ、いのちさえ蔑ろ（ないがしろ）にする政策を進めています。集団的自衛権を行使するとは、自国には武力攻撃がないのに、自衛隊を送り出して他国への武力攻撃をするというものです。戦争への道であり、明らかに憲法9条に反します。これまでの政府解釈にも反します。にもかかわらず、それを僅か23名の閣僚だけで行使容認の決定をするなどということは、憲法の立憲主義や国民主権を真っ向から踏みこむものです。断じて認められません。

昨年末、強行採決された秘密保護法は、戦争をする国にするための情報統制法であり、権力による監視国家、「見ザル、聞かザル、言わザル」の社会・国家へと変えようとするものです。強制力のない「情報監視審査会」を設けたとしても、何らの歯止めになりません。秘密保護法は廃止あるのみです。

安倍政権は、福島原発事故の原因究明もなく、エネルギー基本計画で原発をベースロード電源と位置づけました。そのために高レベル放射性廃棄物処分地の選定を強引に進めようとしています。また、いのち、生存を基礎とする人格権に勝るものはないことを明確にした5月21日の福井地裁判決を無視し、原発再稼働を推し進めようとしています。もし福井の原発に大きな事故があれば、岐阜県に住む私たちの多くが避難を余儀なくさせられ、ふるさとが消えてしまいます。原発からさよならしなければなりません。

平和であることはいのちの大前提です。そして、権利や自由が守られてこそ、いのち、生きることの意義があるのです。これらのうち一つでも欠けてはなりません。だからこそ、県内各地から「もう黙っとれん！」と1000人が集まりました。

ここに集った私たちは、すべての市民に大声で呼びかけます。「集団的自衛権の行使容認反対」「秘密保護法の廃止」「原発再稼働反対」。平和、自由、いのちを守ろう。そのために、安倍政権に「NO！」を突き付けましょう。

2014年6月21日

～平和・自由・いのちを守る～6・21もう黙っとれん1000人パレード
参加者一同